

第 87 号 地域開発みちの会



みちの会 だより

http://www.aichi.michinokai.cc 発行責任者 山崎 宏子

■第 2 回全体会を開催しました。(6 月 21 日(火)東浦町文化センターにて、31 名出席)

<議題>

1. プロジェクト事業企画書

今年度は5件の事業申請がありました。申請者からの説明、内容の質疑応答、意見交換を経て、全件とも採択されました。(詳細は下の表をご覧ください。)

2. みちの会 30 周年について

①議員と語る会、みちの会フォーラムに「地域開発みちの会 30 周年記念事業」の冠をつけて企画、開催する②新年会を「30 周年を祝う会」とする、③プロジェクト事業2件を 30 周年記念事業とする、の3点が承認されました。



3. フォーラムについて(詳細は P.4 をご覧ください。)

4. 議員と語る会について

選挙権年齢が 18 歳に引き下げられた時流に乗り、今年度は 30 周年記念事業として学生にも参加してもらう案が提案され、日本福祉大学の教授にもご協力いただき開催する運びとなりました。開催日、開催場所も学生が来やすいようにとの配慮から **10 月 22 日(土)東海市しあわせ村**で開催します。ワークショップのテーマは Bブロックが考案し、人口ビジョンからみるまちづくりについて意見交換を行う予定です。

■プロジェクト事業

事業名	内容・現況
日本女性会議 2016 秋田に参加	10 月 28 日～30 日開催、5 名参加予定。分科会は「貧困」「女性の活躍」「人権」「ワークライフバランス」に参加予定。
地域開発みちの会 30 周年記念誌発行	30 年のあゆみを振り返る。創立メンバーの座談会記録や 20 年～30 年の活動や社会の動きをまとめ、冊子にする。
地域開発みちの会ロゴを作りましょう!	10 月 5 日までロゴ募集を受付。10 月 1 日より投票、29 年 2 月フォーラムにて表彰式の予定。
学習会	女性問題を生み出す社会構造について本を読み学習する。ジェンダー問題に詳しい講師を招き講演会を行う予定。
まちのこと学び隊	11 月 7 日にまちづくりや子ども・高齢者支援に取り組む団体を視察する日帰り研修を開催する。

■Aブロック「お休み処」8月23日(火)13:00~15:30

名古屋市緑区民プラザ(ユメリア徳重)内地区会館にて簡単な和菓子とお茶の休憩場所を開催。

区民プラザは保健所分室、徳重図書館、徳重地区会館などのほか民間商業施設も入っている複合施設です。そこで区民プラザ内の方達にみちの会を知って頂くこと、新たな交流をつくることを目的とし、来て頂いた方にお茶と簡単な和菓子を提供。会場となった実習室内には「女性の人生スゴロク」「みちの会紹介パネル」を展示しました。*情報ライブラリーでの展示物再利用。

区役所・支所・保健所・プラザサポーターボランティア・ユメリア来館者(学生・おじいちゃん・おばあちゃん)・サポータークラブ企画虫イベント参加の親子など約45名が来場しました。(水野)

【来場者アンケート一部抜粋】

◆女性スゴロクを見て何を感じましたか

- ・いろいろな人生の路があると感じた。面白かった。自分のも考えてみたくなった。
- ・まだまだ人生長いと思いました。これから、大変なことも沢山あるかもしれないと思いました。
- ・いろいろなトラブルが出てきてびっくり!! 順風な人生はそうそうないということですね。どんな風が吹いてもしなやかに明るく生きるたくましさが必要です。
- ・女性が社会で働くには、それなりの条件整備が必要。そのために国や自治体が、女性が働ける条件や賃金保障をする働きかけが必要と思う。



◆「地域開発みちの会」の活動に関心を持ちましたか?

- ・皆で学び合い知恵をつけて前に歩めるよう、サポートすることが大切と思った。
- ・わかりやすくまとめられていて解りやすかった。
- ・このような団体があるのを初めて知りました。
- ・少し、興味を持ちました。・知らなかったので勉強になりました。



◆その他、何かあれば

- ・愛知県は男性に対し女性のリーダー不足? どんどん女性は前進すべしと想う次第です。
- ・災害と女性。母子保健の立場からみると大変なことがたくさんあります。女性防災士・市民防災士などを集めて防災力アップもテーマに取り上げて欲しいです。

【参加会員感想 一部抜粋】

- ・「お休み処」のネーミングがよかった。ちょっと寄ってみようかなという気持ちにさせる
- ・訪問者は高齢者 男性、女性、母親、子供、あかちゃん、男子学生、行政関係の人と多様。
- ・居心地が良いしゃべり場の雰囲気と比較的長居する人が多かった。
- ・普段話さない話題で心に残る会話が出来たと思う。
- ・参加者から「男の人生スゴロク」を作って欲しいとの声あり。
- ・とても気楽だけど真面目な雰囲気、大変面白かったのではないかな。サポーターの方達、支所の方達、保健所の方達も喜んでいて、良い交流になったと思う。



■Cブロック 西知多総合病院保育所 さくらんぼハウス見学

Cブロックは昨年度に続き「働きながら子育てしやすい社会になっているか」をテーマに活動しています。7月6日(水)、Cブロック会員8名で東海市に昨年5月開院した西知多総合病院の保育所「さくらんぼハウス」を見学しました。当初は病院職員用の保育所として計画されましたが、東海市・知多市の病児病後児保育所としての機能も加え、その運営は民間会社へ委託されています。



内部は病児病後児保育のスペースと病院職員用の保育スペース(主に0~2歳児)がスタッフルームを挟んで仕切られており、入り口も別です。病児保育用には3つの個室があり、病状に応じて最大6名保育できます。看護師が1名常駐し医師の往診もあり、人数に応じて保育士が入るそうです。ただ利用するためには事前に登録が必要なこと、利用時は前日の午後7時までには予約が必要のため、突然の発病に対応できないなど課題もあります。

見学後は、会員間で意見交換をし、「企業内保育園や小規模保育園など保育所の在り方が変化してきている」、「預ける場所を増やすことばかりが、働きながら子育てしやすい社会なのか疑問だ」などの意見を交わしました。(位田美砂)



■Dブロック 「イヤダ!と思ったらそれはDVー我慢しなくてもいいんだよ!」講演会

9月11日(日)、ひがしうら女性の会では東浦町男女共同参画推進委員会アドバイザーの愛知淑徳大学講師中島美幸先生をお迎えして「イヤダ!と思ったらそれはDVー我慢しなくてもいいんだよ!」の講演会を開催した。DVは被害者の多くが女性であることから、女性の人権を著しく侵害する社会的な問題であり、男女間の固定的役割分担意識、経済力の格差、男尊女卑意識の問題など、男女共同参画社会を形成して行く上で重大な問題の一つだ。そこでDVの無い社会をめざして出来ることを考え開催するに至った。また、Dブロックの会員10名も「DVの学習会」として参加した。

男女共同参画講演会
イヤダ!と思ったらそれはDV
 ー我慢しなくてもいいんだよ!ー

【DVって何ぞ?】
 ・DVの被害にあつた「男らしさ」
 ・「男らしさ」とは中絶
 ・DVの被害にあつた女性に対する社会的な偏見
 などについてお話していただきます。誰もがDVの被害者・加害者になり得ます。その辺りについてお話させていただきます。

と き 平成28年9月11日(日)
 開会午後2:00~4:00 (開場午後1:30)

と ころ 東浦町文化センター ホール

講 師 中島 美幸 さん
(愛知淑徳大学講師)

対 象 者 どなたでも (中心込込不要)

参 加 費 無料

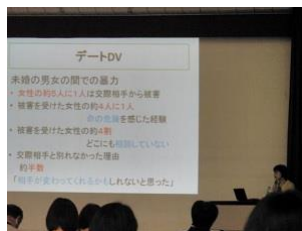
託 児 専予約 6ヵ月~未満児児 先着10名
 締切 8月26日(金) 同合わせ先に申込み

主 催 東浦町 委託 ひがしうら女性の会
 同合わせ 東浦町協議推進課 ☎0562-83-3111(内線295)

徳大学講師中島美幸先生をお迎えして「イヤダ!と思ったらそれはDVー我慢しなくてもいいんだよ!」の講演会を開催した。DVは被害者の多くが女性であることから、女性の人権を著しく侵害する社会的な問題であり、男女間の固定的役割分担意識、経済力の格差、男尊女卑意識の問題など、男女共同参画社会を形成して行く上で重大な問題の一つだ。そこでDVの無い社会をめざして出来ることを考え開催するに至った。また、Dブロックの会員10名も「DVの学習会」として参加した。

中島先生にはDVの話初めて聞く人にも分かりやすくとお願ひし、DVとは何だろう、DVの現状、デートDV、DVが子どもたちにあたえる影響などの話をグラフや表などを交えて話していただいた。

「女らしさ」「男らしさ」のすりこみは性差別社会が背景にある。DVから逃げるには、気づき、勇氣、決意など自己変革が必要だ。そして何よりDVとは何かを理解しなければならない。私たちも、地域と繋がりを探め何が出来るかを考え活動をしていきたいと思った。(外山淳恵)



■地域開発みちの会フォーラム 30周年記念事業

DVの理解を深める
～これ以上いのちを奪われないために～

日時 平成 29 年 2 月 5 日 (日) 13:30～15:30
場所 東浦町文化センター ホール
内容 (予定) みちの会活動報告、
講師講演 等



講師 かいのう たみえ
戒能 民江氏



<プロフィール>

お茶の水女子大学名誉教授、専門はジェンダー法学、女性に対する暴力研究。
お茶の水女子大学副学長、ジェンダー法学会理事長、日本女性学会代表幹事、日
本学術会議会員などを歴任。内閣府・厚生労働省・自治体の女性に対する暴力・
女性支援に関する政策形成などにかかわる。女性と人権全国ネットワーク、性暴
力禁止法ネットワーク共同代表。

『危機をのりこえる女たち—DV法10年、支援の新地平へ』2013、信山社（編著）
『DV防止とこれからの被害当事者支援』2006、ミネルヴァ書房（編著）
『ドメスティック・バイオレンス』2002、不磨書房

これからの行事のお知らせ

■議員と語る会	10/22(土) 13:30～15:30	会場:東海市しあわせ村 2F講堂
■あいち女性連携フォーラム 講演会 「山が教えてくれたこと」 ～人間の力・自然の力～	11/6(日)13:00～	会場:ウィルあいち 4Fウィルホール 講師:野口 健 氏(アルピニスト) 入場料:1000円 その他:「山手スイングオーケストラ」によるチャリティコンサートもあります。
■ウィルあいちフェスタ ～格差の中の女性たち～ 井戸端会議からの出発Ⅱ 「私たちの視点で未来を考える」	11/26(土) 13:30～16:00	会場:ウィルあいち1Fセミナールーム1・2 定員:100名 内容:グループワークによる意見交換

—編集後記—

「〇〇の秋」、何の秋にしようか思案中です。“食欲”は年中なので、それ以外の秋を見つけて充実した日々にしていきたいと思います。(位田)

ご意見・問い合わせは メールにてお寄せください
地域開発みちの会 <http://www.aichi.michinokai.cc/toiawase.html>

